

整理No.		2017-13	労働災害状況調査表	
発生会社 事業所				
災害発生日時		2016年 4月 11日(月) 17時 50分 天候(晴れ) 温度()℃湿度()%		
災害区分		不 休 災害 休業災害(休業:△日)		
被災者	部門	製造部門		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他()
	年齢	29 歳	性別: (男) 女	勤続年数 10年 ヶ月 経験年数 5年 ヶ月
	傷病名	病名 (熱傷)		
	傷病部位	右手甲(親指および人指し指付け根部分)		
災害発生状況	① アルキド樹脂製造の際、反応追跡の為に追跡サンプル(220℃)を採取後、サンプルを右手に持ち試験室へ移動しようとしていた。		状況概略(写真orイラスト)  <p>採取した220℃のサンプルが左手甲に掛かった。</p>	
	② 試験室の扉を開ける為にドアノブをまわして体で押し開けようとしたところ、ラッチがドア内部に完全に納まっていなかった為にドアが開かず、体が扉にぶつかった。			
	③ 反動で、右手に持っていたサンプルが跳ね、左手甲にかかった。(2度の熱傷と診断される。)			
災害の型 ^{※1)} : 7 高温物との接触		作業の形態 (定常)、非定常、その他()		
起因物: ドア		特記事項 特になし		
原因分類	1. 人的要因(man): 近道行為(体でドアを押し開けようとした)			
	2. 物に関する要因(machine): 容器にフタ無し			
	3. 環境要因(media): 特に無し			
	4. 管理的要因(management): 特に無し			
対策	① 試験室扉のドアノブをレバータイプに変更する。			
	② 「ドア扉は手で押し開けること」を課全員に対し、再教育する。			
	③ 反応追跡サンプルは密閉容器に入れて運搬するようにする。			
対策分類 ^{※2)} : 1-2 災害・事故の想定と対応、1-6 教育、2-1 マネジメント、2-4 危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)